

・ 卓上花火ってどんなもの？

前述のコンサートファンタジーと同様に「低温花火」「ローカロリー花火」と言われている安全性の高い花火で、弊社で提供しているものは、キャンドルにセットして使用する「キャンドルスパーク」トーチで花火に直接点火する「シルバーファウンテン」全部で4色の色付き炎の花火「カラーファウンテン」遠隔操作で1卓毎もしくは全卓一斉に点火可能な「フェアリーファウンテン」が卓上花火となります。



・ 卓上花火ってどんなシーンに提案するの？

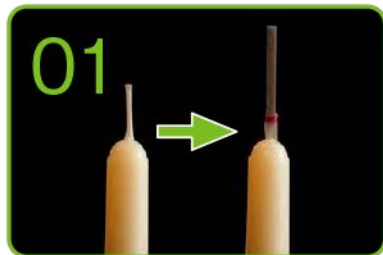
- ・ いずれの演出もお色直し入場時のラウンド演出にオススメです!普通のキャンドルサービスでは物足りないというお客様に是非ご提案下さい。
- ・ 予算やお客様のお求めになる「タイプ」に応じて様々なラウンド演出のご提案が可能です。
- ・ 全卓一斉点火は遠隔操作で圧巻のサプライズ感と感動をお約束します。おふたりのアクションに合わせてお開き時にお使い頂くのもオススメです。



・ 設置の手順（直火点火タイプ）

「キャンドルスパーク」

01. 写真の通り、キャンドルスパーク下半分（透明な筒状の部分）を使用するキャンドルの芯にかぶせて、先端をキャンドル側に差し込みます。この時取り付けが不十分であったり、キャンドルの芯が 15mm 以下の場合は花火が落下する恐れがあります。しっかり取り付けて下さい。**生花以外は使用不可。**また、直径 20cm 以上のオアシスをご使用頂き、取り付け高を 40cm（テーブルまでの高さ）以上設けて下さい。



「シルバー & カラーファウンテン」

02. シルバーファウンテンは下側から出ている 2 本のピクを、カラーファウンテンはプラスチックの尖端部分をオアシスに直接差込んで頂ければOKです。この時、シルバーファウンテンは花火本体の筒部分がオアシスに接触しないようにセットして下さい。カラーファウンテンはプラスチック部分より先をオアシス内に挿入しないようにして下さい。



・ 設置の手順（遠隔点火タイプ）

「フェアリーファウンテン」

03. フェアリーファウンテンの設置はまず「確認作業から」始めます。これは、機材の特性に起因するものです。卓上設置前（納品到着時、花火を接続する前に 1 回）と設置後（花火を接続し点火前）に「電波の受信状況」を確認します。

まずは親機にアンテナを取り付けます。親機の電源を入れます。（スイッチは親機上面アンテナ横）この時前面のパネルに赤い横棒が 2 本表示されている事を確認して下さい。

その他のボタンには一切触れず、子機の電源を投入します。（スイッチは親機同様上面にある金属のスイッチ）子機の電源投入後、スイッチの横にある LED がグリーンに点灯しているかを確認して下さい。全ての子機のスイッチが ON になったら、ランプが確認出来る程度の距離を離れて、親機の「点火ボタン」を押します。



正常に動作している場合は 03 下の写真のように、LED がグリーンからレッドへと変わります。レッドに変われば正常に電波を受信していますので、次の行程に進みます。（次ページ）



子機の上面にある「赤い押しボタン」のスイッチは点検確認時に使用するスイッチですので、ほぼ使う事はありません。確認後は必ず「子機の電源を切って下さい。」

・ 設置の手順（遠隔点火タイプ）

「フェアリーファウンテン：続き」

04 前ページまでの行程で確認作業が終了すれば、一度子機の電源を落として、花火と子機を結線します。子機上部の端子（赤と黒の端子）の「ツメ」を押し下げて火薬の銅線を繋ぎます。コンサートファンタジーの結線と同じように、**被覆部分やドロップ等に気を付けて下さい。**

05 結線時はまだ電源を入れないで下さい。子機の端子は色分けされていますが、弊社で扱っている花火は全て「**極性（+と-）がありません。**」ですので、**線や端子の色に関係なく、接点がきちんと通電しているかのみが重要**です。結線後、必ず端子のツメ部分を抑えて、銅線を少し引っ張ってみて下さい。この作業によって、より結線部分がしっかり食込み、通電し易くなります。

06 電源を入れるのは「**点火する 20 分前から**」とお考え下さい。弊社より機材をレンタルにて納入する場合は全て出荷毎に「新品電池」を同封しています。しかしながら無線着火システムの特性上、点火をした、していないに関わらず、待ち受け状態から電源の消費が始まります。実際の施行では「**新郎新婦が入場口にスタンバイ**」になる迄、**電源ONはお控え下さい。**

07 子機の電源を投入後は親機の操作のみで、再度 03 と同じく、電波がきちんと受信しているか確認しておきましょう。受信ランプは 3 秒間のみ赤く点灯しますので、全ての子機の電源を投入後何度かに分けて確認して下さい。

1 卓毎の点火の場合は親機の+ボタンを一度押す毎にパネルに番号が表示されますので、表示が 1 の時に○ボタンを押せば 1 番の子機のみ点火されます。

08 全卓を一斉に点火する場合は、+ボタンを 16 回押すと左の写真のように「AL」（オールの略）と表示されますので、この状態で○ボタンを押すと電源の入っている全ての子機に点火されます。

なお、一ボタンは 1 回押す毎にパネルの表示番号が 1 づつ下がりますので、卓選択がずれた場合にお使い下さい。

・ フェアリーファウンテンの禁止及び注意事項

- (1) 親機、子機共に精密機械です。機材並びに火薬は絶対に濡らさないで下さい。
- (2) 電波チェックを行う際は、必ず親機前面のパネルに「横棒が 2 本」表示の時に行って下さい。
- (3) 同日同時時間帯に複数会場で無線着火をお使い頂く際、他会場の誤着火を避けるために、子機の電源管理を徹底して下さい。
- (4) 親機、子機共に付属の電池をお使い下さい。尚、万が一電池の交換が必要になった際は必ず「アルカリ電池」をご使用下さい。（その他電池の使用は機材破損の原因になります。）
- (5) 機器の**5 度以下での長期保管及び使用はしないで下さい。**本来の性能を発揮できず、着火できない可能性があります。
- (6) 一斉点火をする場合、親機 1 台に対して子機は最大 16 台まで点火可能です。また、16 台以上の一斉点火の際、2 台目の親機の点火に要するタイムラグがございます（約 2 秒）
- (7) 子機を鉄や銅板の上に置きますと電波が入りにくくなり着火しない恐れがございます。



・当日「点火まで」のフロー（フェアリーファウンテン）

01. まずは確認!精密機械なので、荷物が到着後まずは親機と子機の破損が無いか確認して下さい。

02. テストや点火前迄は、むやみに子機の電源を入れない事。電池残量は非常にシビアです。

03. 花火も機材も高温多湿を避けて保管して下さい。機材に関しては5度以下の場所に保管しない事!

04. 当日の設置は余裕を持って、早めにセット。遅めの電源投入(点火前まで電源はONにしない)

05. 点火前の準備が完了したら、再度親機デジタルが横棒2本表示の時に電波チェックする事。

06. 順次点火（各卓点火）の場合はラウンド順序と子機の番号が合っているかも確認する事!

07. 後はおふたりのアクションに合わせて番号を選択し点火ボタンを押すだけ。

08. 使用後ご返却時は必ず親機も子機も電源をOFFでご返却下さい（ONの状態では破損します）